



田村栄子
久喜市議会議員
総務財政市民常任委員会・
予算決算常任委員会・広報
委員会の各副委員長、ICT
委員、静桜里親の会会長
久喜市放課後子ども教室
(栗橋南小) 実施委員
大阪府豊中市出身 武庫川
女子大学卒業 同大学助手
大妻女子大学講師歴任
南カリフォルニア大学研修



栗橋東中学校の隣接道
路がきれいに舗装されま
した。残りの部分は今年
度の工事の予定です。
(道路河川課 担当)



シズカザクラの開花
東日本大震災での南
栗橋液状化災害からの
復興のシンボルとし
ての静桜が今年も戻っ
てきました。中学生達に
よる接ぎ木苗で移植後
2年になります。南栗
橋二重堀橋付近(静桜
里親の会)



久喜市の令和2年度2月定例議会が令和3年2月22日～3月30日に
行われました。市の諸課題解決のため全力で頑張ります。

暮らしと政治を結びます！

ご意見を賜ります。皆様からの貴重な叱責・ご意見を頂き誠にありがとうございます。

一里塚 無所属 田村栄子

久喜市議会議員

討議資料
2021年令和3年4月

第48号

久喜市議会
会派フェニックス

連絡所〒349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124
<https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/> <http://tamura-ek2.matrix.jp/>

皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症は緊急事態宣言解除後
も全く収束の気配すらありません。久喜市も多くの人々が感染し増え続けています。
治っても若い人や高齢者に関係なく後遺症が残るといわれており、予断を許さない
状況です。新生活様式で気を付けましょう。 議会活動報告をお送りいたします。

令和3年度の久喜市予算が決まりました。新型コロナウイルス感染症 対策等の第2次補正予算を加え一般会計合計525億円

主な事業や身近な事業：

新型コロナウイルスワクチン接種事業、新型コロナウイルス感染症対策など

- * 新型コロナウイルス感染症対策 検査費助成事業（PCR検査等の行政検査自己負担の助成） 372万円
- * 新型コロナウイルスワクチン接種事業（接種に対する負担金） 7億379万円

地域医療の充実のため * 産婦人科医療機関開業支援事業 6,000万円

市民参加地域コミュニティ豊かなまちづくり

- * 地域の魅力再発見・未来共創事業（市民との協働による持続可能な未来を考える） 598万円
- * 男女共同参画啓発 87万円 * 男女共同参画行動計画策定事業 65万円

地球環境問題への対応

- * 新エネルギー導入事業（補助金）1,500万円 再生可能エネルギー・省エネルギー機器導入に補助金
- * 電気自動車等普及事業（温暖化・大気汚染防止等）75万円 電気自動車の購入者に補助金
- 廃棄物処理 * ごみ処理施設整備推進事業 7,874万円

ごみ処理施設の整備を推進するため、ごみ処理施設整備事業者選定、余熱利用施設等整備方針の検討

道路の整備関係

まちづくり推進事業

- * 高柳地区開発整備推進事業 1億7,068万円 * 栗橋駅東まちづくり推進事業 498万円
- 幹線道路からのアクセス道路の整備に向け用地取得の実施
- * 佐間・八甫線整備事業 栗橋と鷺宮地区と結ぶ道路の改良工事 9,332万円
- * 鷺宮産業団地青毛線整備事業 1,217万円

健康・安心のために

- * 社会福祉協議会 補助事業（社協に補助金）1億685万円
- * 公的介護施設等整備補助事業 - - 4,115万円 市内に高齢者施設等を設置する場合開業準備経費を一部補助
- * くりの木作業室等整備事業（整備工事） - - - 4,750万円
- * 交通安全
- ゾーン30の推進 最高速度30キロの歩行者等の安全生活道路確保（栗橋伊坂地区）1,274万円
- * スポーツレクリエーション活動充実 オリンピック・パラリンピック関連事業 2,212万円

防災・消防体制の充実

- * 防災体制整備事業 2,042万円
- 災害時避難所と連携のためグループトークのできる携帯電話の整備
- * 地域防災計画改定事業（新規）983万円 災害教訓や県の計画修正を踏まえ改定

小中学校の大規模改修工事等が行われます：

- 砂原小学校体育館の耐震化工事 1,176万円 江面小学校特別教室棟機能改善工事 1億3,386万円 ほか
- 栗橋小学校校舎等の大規模改造の設計業務委託 2,560万円 小学校関係合計 1億6,637万円
- 大東中学校体育館耐震化工事 1,452万円 大東中学校校舎等の大規模改造工事 1億4,500万円
- 菖蒲中及び菖蒲南中学校統合工事 3億298万円
- 鷺宮東中学校設計業務委託 2,100万円 ほか 中学校関係合計 4億8,788万円
- 学校給食センター整備事業 19億2,308万円
- 教育委員会・生涯学習施設が移転・整備されます
- * 生涯学習施設および教育委員会事務局整備（鷺宮総合支所内へ）6,930万円



栗橋総合文化会館の桜

ワクチン問い合わせ先：久喜市コロナワクチンコールセンター
電話0480-22-5670 FAX 0480-53-6237 月～金曜日（祝日を除く）
当面の間は一般的相談のみ
埼玉県新型コロナワクチン専門相談窓口 電話0570-033-226
副反応に関する相談

感染症拡大対策で引き続き注意を
PCR検査の普及を望む



感染から身を守るには

- 三密を避けましょう
- 密接：接触（握手、ハグなど）避ける
- 密集：数人以上で近接した集まりを避ける
- 密閉：換気（扇風機、エアコン使用中でも窓を開けるなど）
- マスクの着用 手の消毒

田村栄子の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元気につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



令和3年2月議会は2月22日～3月30日に行われました。田村栄子の一般質問(2月22日)と市回答の内容です。

済生会栗橋病院の移転後は

問) 昨年暮れの久喜市議会の全員協議会で済生会栗橋病院が加須市に移転後の建物等について、売買が幸手市の秋谷病院との間で話がまとまった。との内容の報告があった。その後の具体的進捗状況を伺う。

答) 済生会栗橋病院が加須市に移転した後の跡地に来る秋谷病院が、地域包括ケア病床へ転換への手続きを進めている。これを踏まえ今後の跡地活用の協議がなされる予定である。

問) 久喜市にとってより良い病院を願うことから、跡地に来る新医療機関に支援が必要ではないか。

答) 今後話し合いのなかで、先方より具体的な計画に基づき要請があった場合に、市として対応する予定である。

意見) 新病院への久喜市からの継続的支援は地域医療安定化のため行うことを願います。

防災広報 諸手段で広く広報を

問) 災害時「自分の命は自分で守る」が原則となっており、市民の安全避難のためには久喜市防災ハザードマップを市民に十分理解していただくことが必要。そのために市民一人ひとりへの内容の周知、PRの強化が必要である。古河市が行っているようにテレビでの放映はできないか。

答) テレビ埼玉を利用するには複数回の放映で多額の経費がかかるため実施する考えはない。

問) 権現堂公園(一号公園)は標高が高く、車駐泊の場所として有効。今後洪水時避難所として利用できるように整備し防災倉庫の設置、防災用品の備蓄を検討すべき。いかがか。

答) 権現堂の一号公園は、約1/3が洪水時浸水する恐れがあり、避難所として適切でないため整備しない。

(意見) 台風19号ではここに車避難した人も多い。公園の標高が高い部分が使えるように整備すべきではないでしょうか。

液状化対策事業の状況は

(問) 東日本大震災での南栗橋の液状化対策については、住民の合意形成に基づき地下水位低下工法で工事が行われ完了に至った、との検討委員会報告がある。今後の地盤沈下の予想はどうか、許容範囲に入っているか。住民への説明は十分か。

(答) H27年9月より対策工事を実施、H29年11月から地下水位低下を開始するとともに地下水位と地盤沈下量を継続観測した。その結果、地下水位や地盤沈下量は概ね解析とおりで今後の地盤沈下は僅かと予測されたので道路の本舗装を実施、R2年7月に工事完了となった。R2年8月現在で地盤沈下量は限界値は7cmとしているのに対し、実測値は3.6cmであり許容範囲にある。対策工事の実施割合は100%である。

情報紙の配布やHP等で広報し周知に努めている。

(問) 検討委員会は2022年3月で終了となるが、今も地盤沈下を心配する住民の声がある。相談窓口は継続すべき。いかがか。

(答) 今後もコンサルタント会社による相談窓口を継続する。

新型コロナウイルス感染症の拡大抑制対策は

問) 新型コロナウイルス感染症が拡大しているなかで、市民の自粛が1年も続いているが、感染者の増加に歯止めが効かない状況である。この現状をどうとらえるか。また感染の原因ともなっている無症状の陽性者のスクリーニングが必要であり、このため市民を対象にPCR検査を自治体で行うべきである。市長の考えを伺う。如何か。

答) 陽性者の数としては昨年12月をピークに減少傾向にある。緊急事態宣言発令に伴う市民の自粛・協力によるものと認識している。PCR検査は国や県が主体に検査体制を強化して動いており市として全市民対象に行うことは考えていない。

問) この感染症は、無症状者でも若年者層も、症状は軽くても深刻な後遺症を招くと言われている。故に感染予防を徹底するため、今まで以上に強いアナウンスをすべきである。対策は如何か。

答) 市民や事業者の方にこれまで以上にホームページやその他の媒体を活用して情報提供に努める。

意見) 感染していても症状の無い場合があるため、体温や症状の有無、などで健康を判断することは困難です。感染拡大抑制には少なくとも全市民がPCR検査を市の予算で行政検査として受けられるようにすることが重要と考えます。今後の積極的な実施検討を望みます。他の自治体ではこれを既に実行に移しているところもあります。

地球環境 - プラスチックごみ処理問題

問) 新たなごみ焼却施設ではプラスチック容器包装を全て燃やせるごみと一緒に焼却する計画だが、燃焼でダイオキシン、フラン等有害物質が発生し易い。高温の維持が必要とされる。これら有害物質の排除は十分であるか。

答) 法律や県条例の規制よりさらに厳しい自主規制を設けることで対処する。

問) プラスチックごみは焼却よりもごみのもとになる製品の使用を極力減らす、使わないようPRすべき。いかがか。

答) 発生抑制、再使用、再生利用の3Rに加え、拒否リフューズと修理リペアの5Rについて市ホームページで周知している。ノーレジ袋キャンペーンやマイバッグコンテストを実施してきた。今後も引き続き取り組んで行く。

問) 市内の河川、例えば中川や排水路にプラごみが散乱している場合がある。海に流れてマイクロプラスチックになる。これらプラごみ除去の行政の考えを伺う。

答) パトロールや市民からの通報により現地確認し、除去している。今後も常習的に不法投棄をパトロール実施、ポイ捨て抑制の看板設置などで、状況に応じた管理に努める。

(意見) プラごみ焼却は環境先進国ドイツでも最終手段となってきました。燃やすのは慎重に考えて頂きたい。家庭ごみのもとになるプラの使用を減らす、製造を減らすなどの取り組みがさらに必要ではないでしょうか。

暮らしと政治を結びます!